

寒風のなか議員・予定候補が支部・後援会と

507カ所で2割の支部、2000人

2月の近畿いっせい宣伝が9日に行われ、厳しい冷え込みの中、2府4県の507カ所で2割の支部、2025人、議員・予定候補300人が参加し、2万7000枚のピラを配布しました。いずれも先月の取り組みを上回りました。

●若い人が署名・激励

安倍改憲反対を訴える「近畿民報」や大阪都構想反対のピラを配布。若い人の反応が良く、京都南部のJR祝園駅前では高校生らが「戦争はあかん」「核兵器一発でも地球が危ない」と署名。大阪・中央区では子連れママが「大阪市をなくしたらあかん」と署名し、大阪・河内長野三日市駅では青年が「がんばって」と声を掛けました。

清水忠史前衆院議員は大阪府中央区の森ノ宮駅前で柳利昭府委員長ら府委員会勤務員、中央地区の人たちと宣伝。堀内照文前衆院議員は神戸市中央区の三宮駅前で訴えました。滋賀の参院選挙区の佐藤こうへい予定候補はJR膳所駅前できのせ明子県議予定候補らと宣伝しました。



柳大阪府委員長と宣伝する清水さん

要求懇談・憲法学習・集い

清水・堀内さん終日行動

滋賀・湖南地区

清水忠史、堀内照文両前衆院議員は13日、滋賀・湖南地区（草津、甲賀、湖南、守山、栗東、野洲の各市）で活動。総選挙の結果を踏まえ、「国政をより身近なもの」と計画され、「清水・堀内DAY」として意欲的な企画になりました。両氏は、午前中は地区内6市の地方議員団らと要求懇談、午後は地区委員会主催の「3000万署名推進へ～安倍改憲許すな『学習交流会』」、夜は守山市・草津市での「党を語るつどい」に参加と、フル活動しました。



要求懇談では、3人の議員が▽生活支援ハウスの実態と国庫補助要求▽養護学校のマンモス化と設置基準要求▽医療ケアが必要な子どもたちの通学保障のテーマで約10分間報告。清水氏、堀内氏もアドバイスして活発な討論しました。

憲法学習は52人が参加。清水氏が報告、堀内氏が安倍改憲の狙いを食い止める運動の広がりについて発言しました。討論では各支部での3000万署名の経験を交流。また「『署名は力になるのか?』の疑問も出るので『力になるという実例を教えてください』『自衛隊問題の疑問にどうわかりやすく答えるか』などの質問が出され、二人が丁寧に答えました。戦争する国づくりを許さないために、共産党員として本気で頑張り抜こうなどの決意表明も参加者から出ました。

●34歳の労働者が入党 清水さんが参加した集いでは34歳の労働者が「迷っていたが、今日の話で決めました」と入党を決意しました。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel 06(6975)9111 Fax 06(6975)9115

No. 9(2018.2.12)